

世界の森林資源と日本の住宅文化との関わりは？

おしゃべりサロン「相互塾」

(第82回) <入場無料>



老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

緑の循環から始まる住環境

～日本の森林と日本の住まい～

日時：平成18年11月27日(月) 午後7時～9時

場所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室(グリーンホール南隣)

語り手：内山信一さん 遠州屋材木店 代表取締役

わが国における森林面積は約2500万ヘクタールにも及び、国土全体の約70%を占めています。森林は二酸化炭素を吸収し、酸素を供給し続けています。

しかしその日本の森林保持に危機が生じている事にお気づきですか？

京都議定書でのわが国の温室効果ガス削減目標ノルマは6%です。内約4%は日本の恵まれた森林が貢献していると算定し、免除されています。しかし、あくまで健全な森林である事が前提です。わが国の伝統工法、木造軸組住宅は今でも2×4、軽量鉄骨工法などに比べれば非常に人気が高い住宅工法です。しかし、使用されている材木のほとんどが輸入材です。どうしてでしょうか？ 輸入材の方がはるかに安いから……？ いやそんな事はありません！ 今では国産材杉、桧の柱などは30年前と同じ価格にまで落ち込んでいるのです。では何故？何故？自国の資源を使わず、外材に依存し、乱伐し続け地球環境破壊を促進する日本人、危機に直面している日本の住宅文化と森林循環環境を説きます。



【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

会場に「相互塾」関連の運営費(資料、チラシ、ポスター、会場など)のために『ご寄付』の箱を置いています。お気持ちで、お願いします。

主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

E-mail mmanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)